

フローリングのお手入れ

日常のお手入れから、ガンコな汚れのお手入れまで。

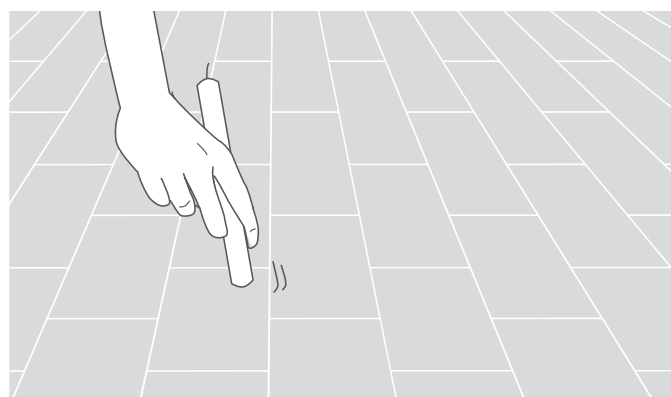
フローリングの美しさを保つお手入れをご紹介します。



バケツ

かたく絞った雑巾

中性洗剤



日常のお手入れ

フローリングをきれいに保つには、掃除機をかけて、ホコリやゴミを残さないようにすることです。特に砂のような硬いものが残っていると、その上を歩くことで、細かいキズが表面につき、汚れもつきやすくなります。また、化学雑巾や化学モップをフローリングの上に長時間放置すると化学成分がフローリングに染み込んで変色させる場合があります。ご注意ください。また、フローリングが変形する原因にもなりますのでスチームモップは使用しないでください。

汚れがひどいとき

まずは、掃除機でホコリやゴミをていねいに取り除きます。水で適量に薄めた住まいの中性洗剤を使って雑巾で拭き掃除をしてください。水分が多い雑巾でお掃除するとフローリングを傷めますので、雑巾はかたく絞って拭くようにしてください。また、お掃除後は十分に乾燥させてください。

フローリングの補修

同色のクレヨンやキズ補修材を塗り込みます。小さな傷は、ロウソクを塗り込むと目立たなくなります。

※重い物を置く場合には、受け板を敷いてください。

“きしみ”について

フローリングには「木」が使われています。様々な加工は施されていますが、湿気の多い季節など、水分による膨張のため、縦方向の伸びから「床のふくらみ・浮き」、横方向のふくらみから「床のきしみ音」が発生する場合があります。お部屋内の除湿や換気が効果的です。

“すきま”について

フローリングは数枚のユニットを組み合わせで貼っています。湿度等による伸縮により、一部すきまが大きく見える事があります。

※フローリング上でキャスター付き椅子や家具を使用すると、表面材が破損したり、表面に凹みができる場合があります。特に球状タイプのキャスターは、床に点での荷重がかかり、キズがでやすくて、おすすめできません。

階段

階段・手摺りのお手入れ

●ゴミやほこりを取り除いた後、乾拭きしてください。

手摺りは柔らかい布で拭いてください。

※手摺りのビスが緩んでいないか、定期的に点検してください。

